

# バルトレックスとステロイド少量投与による顔面神経麻痺の治療成績

上越総合病院耳鼻咽喉科

五十嵐良和

バルトレックス(パラシクロビル)について

ゾビラックス(アシクロビル)のプロドラッグ

内服回数が少なく投与しやすい

バルトレックス 500mg2錠×3回

ゾビラックス 400mg2錠×5回

副作用は腎機能低下症例の精神障害

(透析症例で経験)

# 当院での顔面神経麻痺に対する治療変遷

- 1 ステロイド(いわゆる まる特)点滴
- 2 大量のステロイドと利尿剤点滴  
(ステナート療法)  
— ハント症候群でゾビラックス併用 —
- 3 バルトレックスとステロイド点滴  
— 1~3まで原則入院治療 —
- 4 2008年~  
バルトレックスとステロイド少量内服  
— 外来通院で治療 —

## 現在の治療メニュー

- 1 バルトレックス(パラシクロビル)  
500mg6錠 分3 7日間
  - 2 プレドニン(プレドニゾン)  
15mgより漸減投与
  - 3 メチコバル(ビタミンB12)
  - 4 胃薬
  - 5 リハビリテーション
- 今回、この治療成績をまとめてみた

# 対 象

2008年1月～12月に当科受診

発症7日以内、15歳以上の

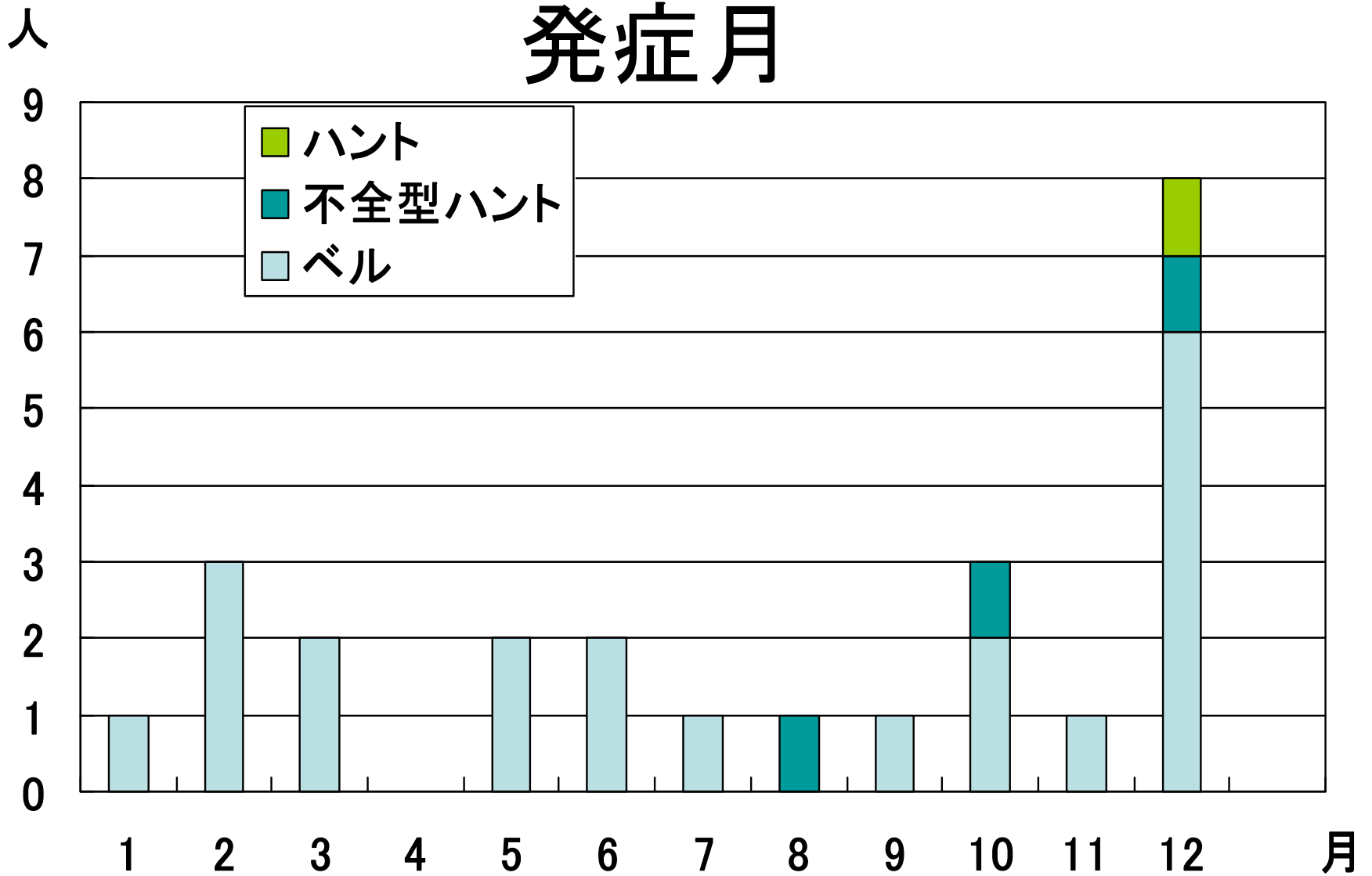
末梢性顔面神経麻痺25症例

(外傷、腫瘍病変に伴うものを除外)

# 症例の内訳

年齢	平均 51.1歳 (25~81歳)		
性	男 14例	女 11例	
重症度	完全麻痺(8点以下)		14例
	不完全麻痺(10点以上)		11例
ベル	21例		
ハント	1例		
不全型ハント	3例	めまい	2例
		めまい、難聴	1例

# 発症月



平成20年12月は受診例が非常に多かった

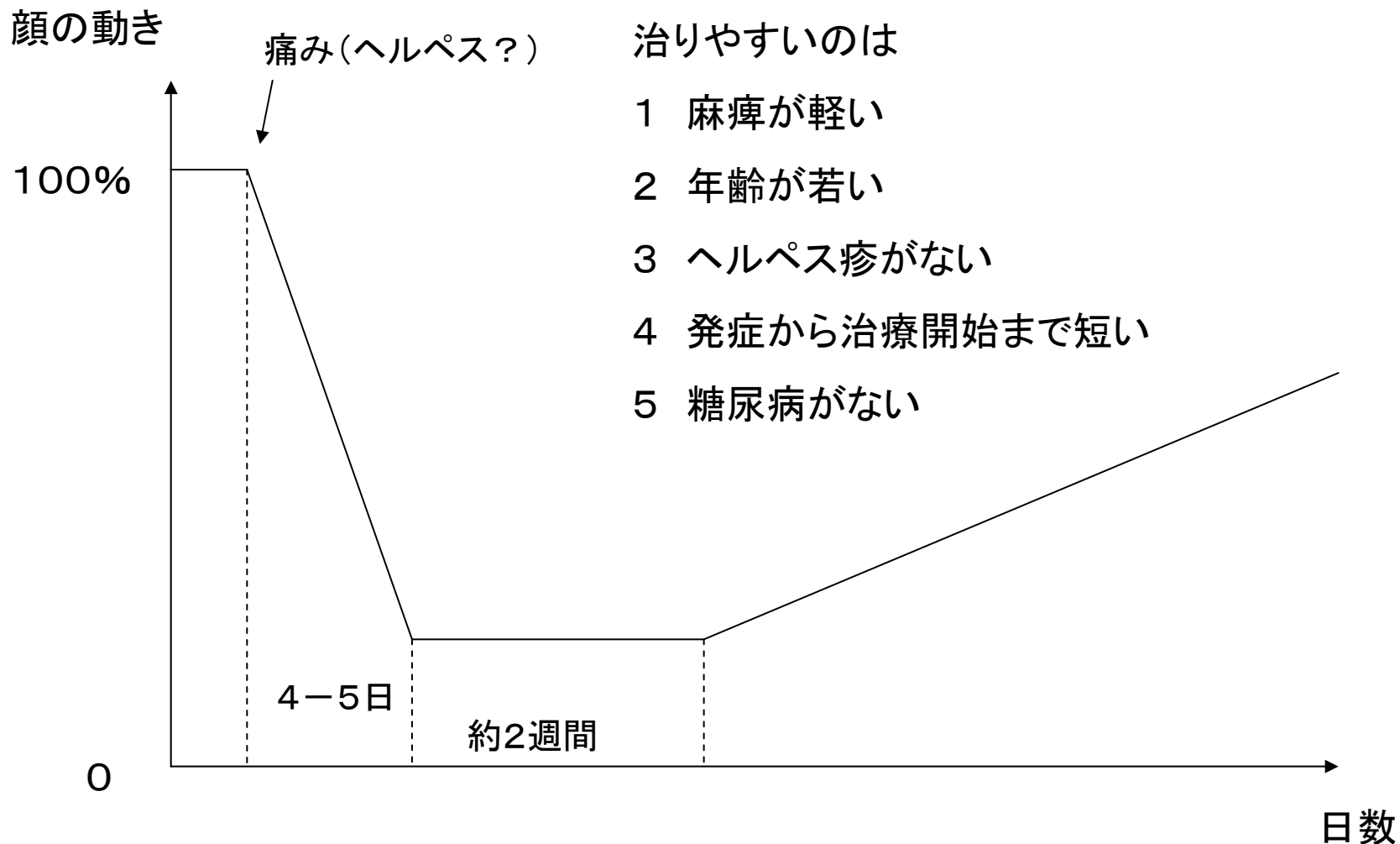
# 治療成績の評価方法

一般的な治癒判定 は 累積治癒率  
発症6ヶ月以内に36点以上回復  
中等度以上の後遺症がないもの

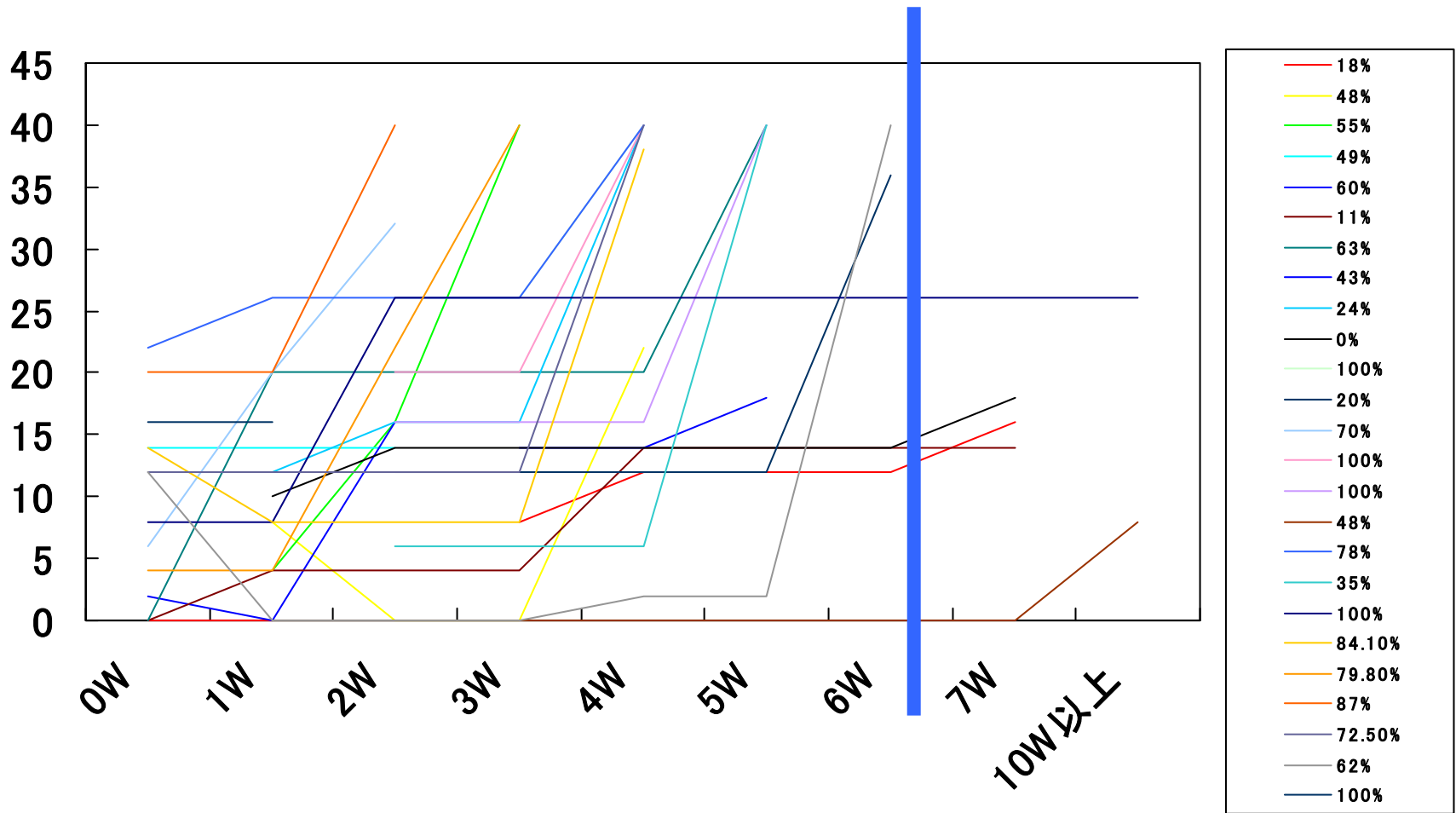
今回は6ヶ月経過していない症例が多く  
表情筋スコアの経時的変化をグラフ化した



# 顔面神経麻痺患者さんへの説明に用いている図 (ステナート療法の施行経験から)

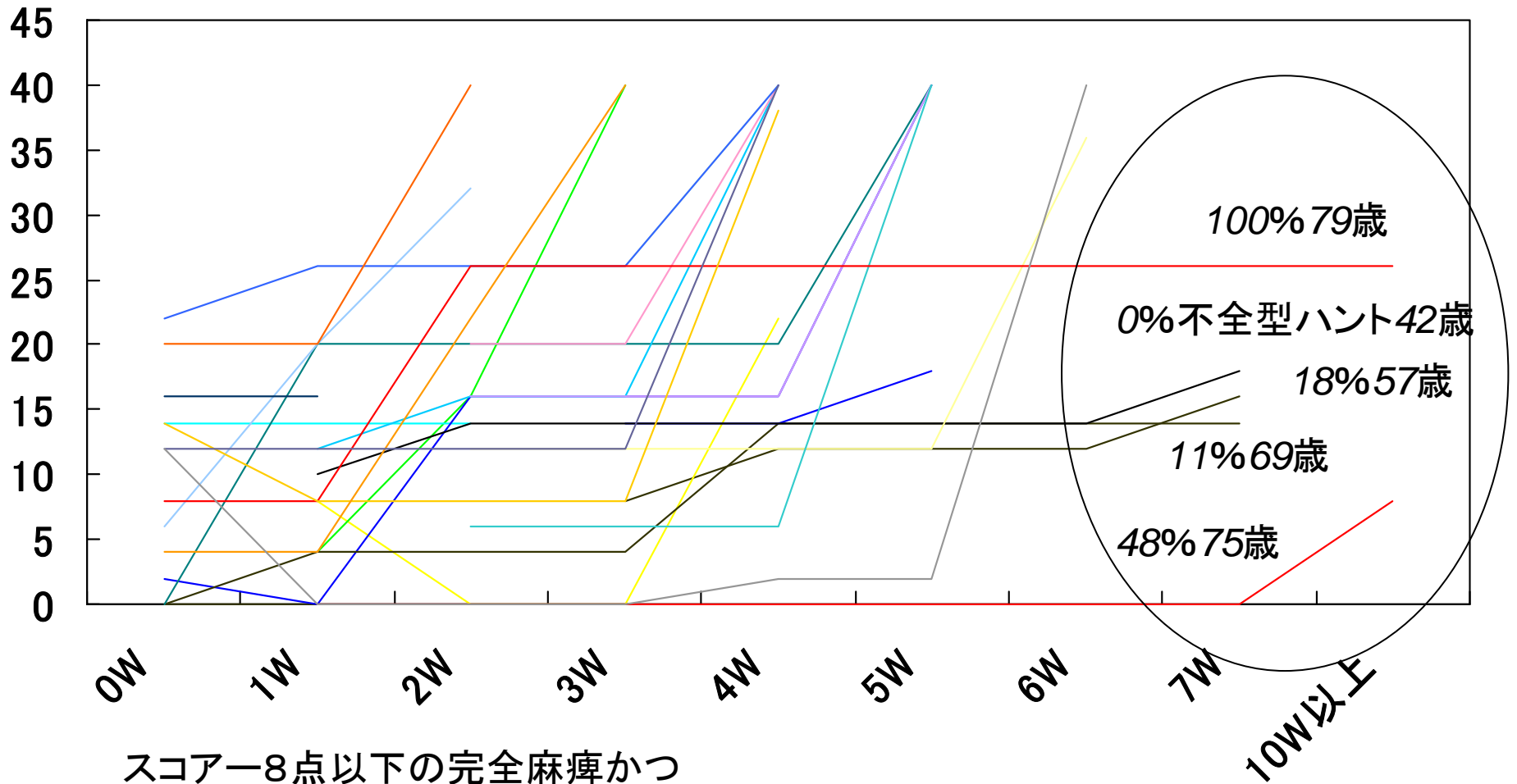


# 表情筋スコアの推移とENoG



80%の症例が6Wまでに治癒に近い状態にいたっている  
副作用はなし

# 6w以降治癒遅延症例の検討



スコアー8点以下の完全麻痺かつ

ENoG 20%未満 と ご高齢の方が 治癒遅延傾向

## 今回の結果と文献上の治癒率

今回の検討では発症6Wまでに多くが治癒し  
6W以降遅延したのは(5/25)だった → 80%

### 文献より

自然治癒率	72%
完全麻痺症例	60%
60歳以上の高齢者	36%
糖尿病合併例	25%
ステナート療法	92%

顔面神経減荷術をおこなっても70%以下

# まとめと考察

- バルトレックス、少量のステロイドを併用した顔面神経麻痺の通院治療により、発症6Wまでに80%が治癒もしくは治癒に近い状態となった。
- 6W以後の治癒遅延症例は、高齢者またはENoG不良の完全麻痺症例であった。
- ENoG不良例では何らかの対策が必要と思われる。